

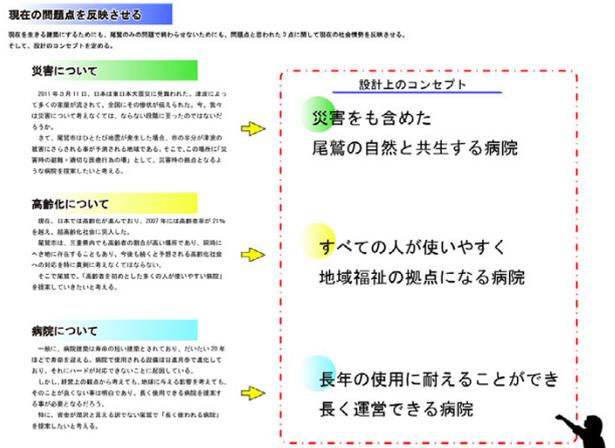
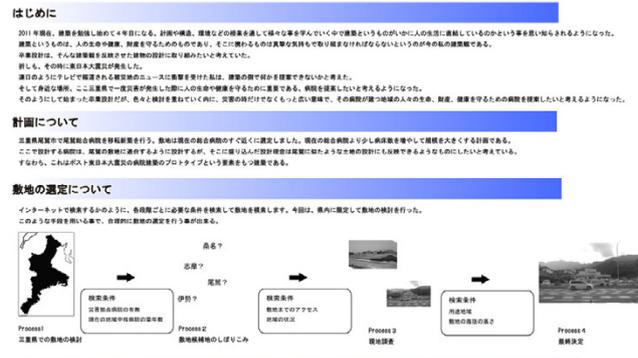
尾鷲と共に生きる病院 NO.1



尾鷲に流れる時間、自然の驚異である地震などの災害
海や山、雨や星、そして尾鷲に住む人々
それらと共に尾鷲に存在しゆっくりと古びていくような
そんな病院を目指しました

Masayuki Kato

地域社会で生きる病院 NO.2



- コンセプトに対する提案**
- 上記のコンセプトに基づいて、尾鷲の病院で建てることが出来るかについて検討を行う。ここで決めた提案に基づいて、後の図面の中で描いていく。
- 災害をも含めた尾鷲の自然と共生する病院
 - すべての人が使いやすい地域福祉の拠点になる病院
 - 長年の使用に耐えることができ長く運営できる病院
 - 免震構造の導入
 - ヘリポートの設置
 - 防災用倉庫の設置
 - 講堂に非常用ガスの設置
 - 外の風景を取り込む工夫
 - 壁面緑化
 - 回想ストリートの導入
 - 予防提案の実施
 - 介護等の講習会
 - バリアフリー化
 - 個室的多床室群
 - 明確に区分された動線計画
 - ISS の導入
 - メンテナンスフリー材の使用
 - 検診センターの設置
 - 緩和ケア棟
 - ホスピタルストリート

私の設計プロセス

設計プロセスに関して

起 基本形態の検索

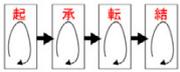
転 要素の挿入と形態の操作

起承転結型の設計 部分と全体を相互に検討



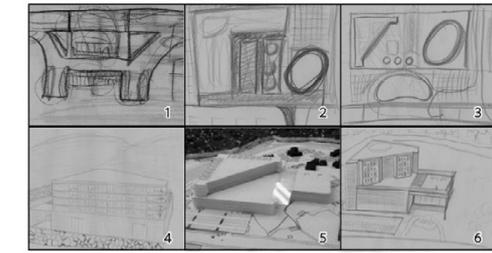
起承転結型の設計

起承転結型とは、起承転結の4つの要素からなる設計プロセスである。起承転結の4つの要素は、起承転結の4つの要素からなる設計プロセスである。起承転結の4つの要素は、起承転結の4つの要素からなる設計プロセスである。



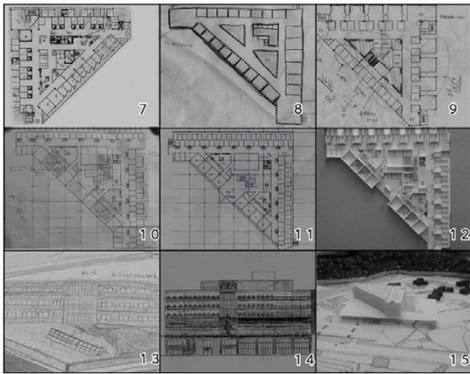
部分と全体を相互に検討

部分と全体を相互に検討し、部分と全体を相互に検討する。

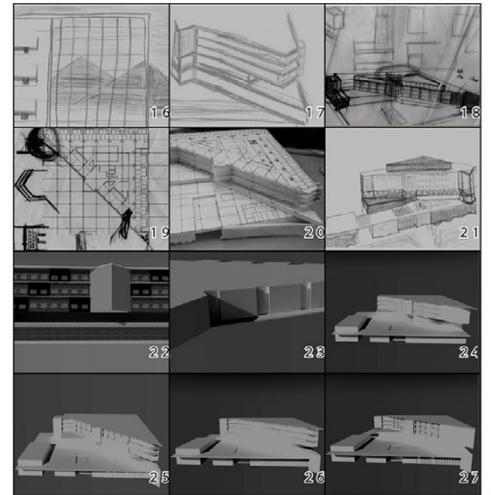


1-3 初期の形態の検索
4 全体のイメージスケッチ
5 敷地状況と建物の配置
6 起のイメージスケッチ

承 病棟形態のスタディ



7-9 病棟の形態のスタディ
10-11 病棟の形態のスタディ
12 病棟の形態のスタディ
13-15 病棟の形態のスタディ



16 要素の挿入と形態の操作
17 要素の挿入と形態の操作
18 要素の挿入と形態の操作
19 要素の挿入と形態の操作
20 要素の挿入と形態の操作
21 要素の挿入と形態の操作
22 要素の挿入と形態の操作
23 要素の挿入と形態の操作
24 要素の挿入と形態の操作
25 要素の挿入と形態の操作
26 要素の挿入と形態の操作
27 要素の挿入と形態の操作

結 最終調整



28 最終調整
29 最終調整
30 最終調整

Masayuki Kato

ホスピタルストリートをもつ低層部



ホスピタルストリート



ホスピタルストリートは、歩行者が歩きやすいよう設計されている。また、アトリウムに集まることで、地域の活性化を図ることができる。また、歩行者が歩きやすいよう設計されている。

小児科の特設室について



小児科の特設室は、小児科の患者さんにとって、安心して過ごせる空間を提供する。また、歩行者が歩きやすいよう設計されている。

外家の特設室について



外家の特設室は、患者さんにとって、安心して過ごせる空間を提供する。また、歩行者が歩きやすいよう設計されている。

その他のアイデアについて

検診センターについて
検診センターは、患者さんにとって、安心して過ごせる空間を提供する。また、歩行者が歩きやすいよう設計されている。

災害時の対応について
災害時の対応は、患者さんにとって、安心して過ごせる空間を提供する。また、歩行者が歩きやすいよう設計されている。

トレーニングジムについて
トレーニングジムは、患者さんにとって、安心して過ごせる空間を提供する。また、歩行者が歩きやすいよう設計されている。

健康相談所について
健康相談所は、患者さんにとって、安心して過ごせる空間を提供する。また、歩行者が歩きやすいよう設計されている。

Masayuki Kato

